社会貢献活動

社会・地域への貢献活動

ニッケグループでは国内各所に製造拠点、事業所、ショッピングセンターなどを展開しており、地域行事への参加・協賛や工場見学の実施など、積極的な地域貢献活動の推進を心がけています。また、「グループ企業と地域社会の密接な関係」を強化するため、グループ事業場の多い兵庫県加古川市と愛知県一宮市に地域事務所を設置しています。

「ヒツジパレット2015京都」に特別協賛

2015年2月5日（木）～8日（日）に京都府京都文化博物館やハートピア京都ほか京都市内各所にて開催された、「第2回ヒツジパレット2015京都」（主催：羊パレット実行委員会）にニッケグループとして協賛しました。

本イベントは日本最大級の羊毛を主軸とした公募展で、国内外から300点を超えるクリエーター作品が展示されました。そのほか、織り・編み・紡ぎ・染め・フェルトなど8種類のワークショップ（レクチャー）や、「人間と羊毛の歴史」など7テーマの講演会、モンゴルの伝統的な敷物制作の実演、ヒツジに纏わる作家の作品や素材の販売会「ひつじマルシェ」も併催されました。

ニッケグループは、企業を紹介する常設展示を設けたほか、現役・OBを講師に「ニッケグループ ウール大学」を2月6日（金）限定で開講しました。また、（株）ツキネコ、ニッケ商事（株）、ニッケの3社合同で「ひつじマルシェ」にブースを出展しました。

開催期間中は、デザイナー・紡績関係者・手芸愛好家などプロからアマチュアまで延べ8,800名のヒツジファンが全国から集いました。

今後も本社部門の広報活動のひとつとして、事業部横断的な取り組みを検討していきます。

「ニッケグループ ウール大学」を開講

第13回「工房からの風」を開催

2015年10月17日（土）～18日（日）の2日間、ニッケコルトンプラザ（千葉県市川市）で「工房からの風」を開催しました。本イベントは今回で13回目となる屋外工芸展です。会場にはワークショップや制作公開も含めて70名の若手工芸作家さんが集まり、陶磁や硝子、染織、木製品など、暮らしを彩る工芸品が並びました。

本イベントは、新人作家さんの登竜門として認知されてきたことで、バイヤー、ギャラリー経営者、編集者などが全国から集う、独自の名物企画へと育ってきました。そこで、今回、新しい試みとして、「魅力的な工芸作家輩出への関わり方」や「作品ができるまでの背景」についてのトークショーを開催しました。立ち止まって共感するお客様の姿が見受けられ、多くのお客様に楽しんでいただけました。このイベントを通じて、地域のお客様と新人作家さんとの交流が生まれること、作家さんが全国区で活躍の場を広げることは、主催者の喜びでもあります。来場者アンケートに一番多く書かれた「続けてもらいたい」という言葉を心の糧にし、今後も文化的なイベントを開催していきます。

70名の若手工芸作家が出展

トークショーを開催

社会貢献活動

「第9回ニッケピュアハートイラスト大賞」を開催

ニッケグループでは、2015年8月1日（土）～10月23日（月・祝）まで、「ニッケピュアハートイラスト大賞」を実施しました。9回目となる今回は、「スタンプインクを使って、絵はがきを作ろう！」をテーマに、年齢の枠を設けずに自由な発想で描いたイラストを募集しました。例年、「ヒツジを描こう！」や「う～るんのお友達を描こう！」などタイトルを指定していましたが、今回は応募者の方がタイトルを付け、そのタイトルに合うイラストを描く形式としました。

応募総数641通の中から厳正なる審査を行い、大賞1名・優秀賞5名・ニッケ賞24名の合計30名の受賞者を決定しました。

12月5日（土）には大賞・優秀賞の受賞者6名を対象に、綿業会館（大阪市中央区）にて表彰式を実施しました。受賞者とご家族8名、ニッケ関係者6名が参加し、会食や国の重要文化財に指定されている綿業会館の見学を含めた表彰式を楽しみました。

このピュアハート企画は、イラスト大賞としては第9回ですが、過去の英文エッセーコンテストを含めると通算で27年という長い歴史を持つ、次世代を見据えた文化支援事業です。作者の純粋な目線を讃え、絵を描く喜びや楽しさを提供する活動の一環として、今後も継続して取り組んでいきます。たくさんのご応募ありがとうございました。

綿業会館にて表彰式を実施

大賞・優秀賞の受賞者（左から木村岳文様、藤城佑梨様、馬場美優様、橋本じゅん子様、西村香織様）

第27回「加古川マラソン大会」に特別協賛

兵庫県加古川市にて2015年12月23日（水・祝）に開催された「第27回加古川マラソン大会」に特別協賛しました。

全国ランニング大会100撰に9年連続で認定されている加古川マラソン大会では、「県立加古川河川敷マラソンコース（加古川みなもロード）」を走ります。全体的に平坦で走りやすいため、好タイムが出やすく、自己ベストを狙うランナーも多く、年末を締め括るにはふさわしい大会として親しまれています。

今大会はあいにく終盤に雨に見舞われましたが、5,199名のランナーが参加し、招待選手のリオデジャネイロオリンピック2016女子マラソン日本代表内定の伊藤舞選手（大塚製薬陸上競技部所属）とゲストランナーの大平サブロー氏、和泉修氏（ともによしもとクリエイティブ・エージェンシー所属）もともに10kmの部に参加され、師走の加古川をさっそうと駆け抜けました。

ニッケグループは、ニッケの発祥の地である加古川市の市民の健康増進と、スポーツ振興に寄与することが社会貢献につながれば、という考えのもとで、1990年開催の第1回大会から特別協賛企業として本大会運営に協力しており、今後も継続して協賛を行ってまいります。

第27回「加古川マラソン大会」